

日本を支える中小企業

2013年6月18日
NHKラジオ 明日へのことば
村松健一 企業再建弁護士 30年
会社を蘇えらせることが私の使命。

日本の企業数は約434万社

そのうちの99.7% (433万社)は中小企業、
上場している大企業はたった0.3% (11800社)です。
0.3% (11800社)のうち、東証一部上場企業は約1300社。
日本を支えているのは零細中小企業なのです。

新聞、テレビなどの報道機関の大半は上場大企業の様子を報道していますが
上場企業の大半は膨大な数の中小企業に支えられていることを認識する必要があります。
ここ30年の間に、中小企業の大切さ、
企業救済(社長、社員、取引先の人たちの命を助ける・・・)の重要性が認識されてきました。

一般的に中小企業は金がない。体力がない割りに借金が多いところが多い。
1億円の売上の会社では、5000万円位の借入れが妥当だが
体力以上に金を借りている中小企業は多い。

金融円滑化法案は中小企業の借金を支えていましたが、
2013年3月31日に終わってしまいました。
今後、この法案に支えられてきた30~40万といわれる
中小企業の資金繰りが心配です。

中小企業庁のサイトに
統計資料が掲載されており、全企業を大・中・小の3つに分けて集計されています。

尚、分類の要件は下記の通りです。

1. 企業数=会社数+個人事業所(単独事業所および本所・本社・本店事業所)とする。
2. 中小企業基本法の定義に基づき、常用雇用者300人以下
(卸売業、サービス業は100人以下、小売業、飲食店は50人以下)
の企業を中小企業とする。
3. 常用雇用者20人以下 (卸売業、小売業、飲食店、サービス業は5人以下)の企業を
小規模企業とする。
4. 小規模企業の構成比は全企業数に占める割合とする。

【結果】

